

平成19年度 事務事業評価表	担当	建設部	道路建設課	内線等	2273
事務事業名	市道柏原堀切小敷塚1号線整備事業			事業コード	3. 建設事業(ハード事業)
根拠法令等				A法令	

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	国道23号蒲郡BP(仮称)蒲郡西ICと蒲都市街地を結ぶアクセス道路として、
手 段	市道柏原堀切小敷塚1号線(都市計画道路竹谷柏原線)を新設整備することにより、
想定する成果	(仮称)蒲郡西ICから市街地への交通量を分散し、幹線道路網を整備し、地域の交通安全を確保する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
用地買収面積	4,823.68㎡ / 9,638.25㎡	3,044.23㎡ / 9,638.25㎡	-
補償件数	5件 / 13件	5件 / 13件	-
工事費 (委託料含)	4,167千円 / 275,904千円 (実績 / 計画)	592千円 / 275,904千円 (実績 / 計画)	85,000千円 / 275,904千円 (実績 / 計画)

成果指標

成果指標名	用地買収率	事業進捗率
成果指標の説明	累積買収済面積 / 総買収面積 × 100	累積実績事業費 / 総事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位:千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		68.40%				100.00%				-			
成果指標		35.60%				49.09%				65.80%			
事業費	事業費	135,625				68,608				85,000			
	人件費	7,784				7,810				4,707			
	(人数)	正規	1.0	非常勤		正規	1.0	非常勤		正規	0.6	非常勤	
	合計	143,409				76,418				89,707			
財源内訳	国	62,500				32,600				40,000			
	県												
	市債	28,100				14,600				18,000			
	その他												
	一般財源	52,809				29,218				31,707			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	2	3	2	平成17年度より用地買収に着手、計画どおり平成19年度に用地買収は完了した。
経済効率性	1	2	1	2	用地買収は完了したが、平成20年度以降工事施工のため、投入された予算に見合った成果をあげていない。
事務効率性	2	2	2	2	人員にほぼ見合った成果をあげた。
必要性	3	3	3	3	市民の利便性及び生活環境の向上と、地域の交通安全確保のため、市が実施すべきものである。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	幹線道路へのアクセス道路であり、市民の利便性の向上及び安全性の確保のために、非常に効果がある。
合計	12	9	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	平成22年度供用開始に向け、平成20年度から工事を施工、計画どおり進捗しており、投入した予算に見合った成果があがっている。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
同地区で、市道柏原堀切小敷塚1号線ほか、国(国道23号蒲郡BP)、県(県道芦谷蒲郡線)、市道中山本柏原堀切1号線と4事業が同時に進められており、用地買収にあたっては、各事業間の調整を密にする必要がある。
上記改善点の実施状況
国及び県と調整し、効率的に用地を取得することができた。あわせて、国及び県の買収単価を算定基礎に、市道用地の買収単価を決定することができ、鑑定手数料等の削減を図ることができた。

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

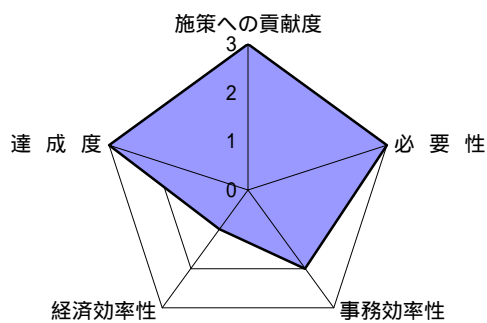
道路新設工事費

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点